

道路附属物個別施設計画

【池田市】

令和8年1月  
改訂版

池田市 都市整備部

## 目 次

1. 計画策定背景および基本方針について	1
2. 健全度の把握及び日常的な 維持管理について	1
3. 対象施設	1
4. 計画期間	2
5. 長寿命化修繕計画による効果について	2
6. 対策内容と実施時期	2

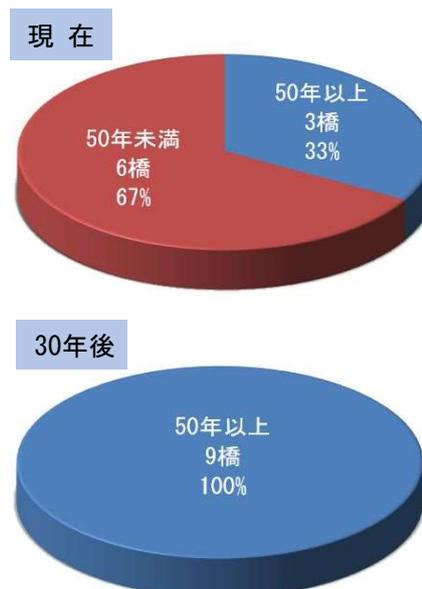
## 1. 計画策定背景および基本方針について

### (1) 背景

池田市が管理する道路橋:126橋（橋長15.0m以上:18橋、橋長15.0m未満:108橋）および横断歩道橋:9橋を合わせて135橋、シェッド1箇所（R7.3現在）あり、このうち建設後50年を経過する横断歩道橋は、全体の33%を占めており、30年後の令和37年には9橋（100%）となる見込みです。

しかしながら、少子高齢化が進み、厳しい財政事情の限られた予算の中で、橋梁等の修繕・架替えに使うことの出来る費用には限りがあります。

このような背景から、増大が見込まれる橋梁等の修繕・架替えに充てる費用に対して、可能な限りのコスト縮減の取組みが不可欠です。



### (2) 老朽化対策における基本方針

これまでの対症療法的な対応から予防的かつ計画的な対応へ転換することにより、将来にわたって道路交通の安全性を確保しつつ、維持管理に関わるコストの縮減を図ります。

### (3) 新技術等の活用方針

橋梁定期点検・調査や修繕工事等の実施では、「点検支援技術性能カタログ」や「NETIS（新技術情報提供システム）」などの新技術や新材料の活用を積極的に検討する。採用にあたっては、従来技術に新技術等を加え比較検討し、新技術等の活用により、維持管理の効率化やコスト縮減等の有効性を確認する。

### (4) 集約化・撤去の方針

今後の人口減少及び土地利用の変化などの社会情勢や橋梁の利用状況及び健全度（老朽化）の状況を踏まえ、迂回経路が確保可能な橋梁について、橋梁を利用する地域住民の方々と合意形成を図りながら集約化・撤去対象橋梁を選定する。

## 2. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関して

### (1) 定期点検の実施

健全度の把握については、『道路橋定期点検要領』国土交通省 道路局（令和6年3月）および『大阪府橋梁点検要領』大阪府都市整備部交通道路室（令和6年11月）に準拠した橋梁点検を、私たちの健康診断と同様に定期的実施し、橋梁の損傷を早期に把握することで、予防的で計画的な対応ができるようにします。

### (2) 日常的な維持管理について

橋梁を良好な状態に保つため、日常的な維持管理として、パトロール、清掃などを実施します。

## 3. 対象施設

対象施設は横断歩道橋9橋、シェッド1箇所とする。

#### 4. 計画期間

当該個別施設計画の計画期間は、令和7年度からの令和16年度までとする。

#### 5. 長寿命化修繕計画による効果について

予防保全および事後保全による橋梁の維持管理費を、今後50年間を対象に試算した。予防保全型の累計費用は約2.1億円、事後保全型の累計費用は約2.2億円と算出され、これにより費用縮減効果としては、約0.1億円(5%)が見込まれる試算結果となった。

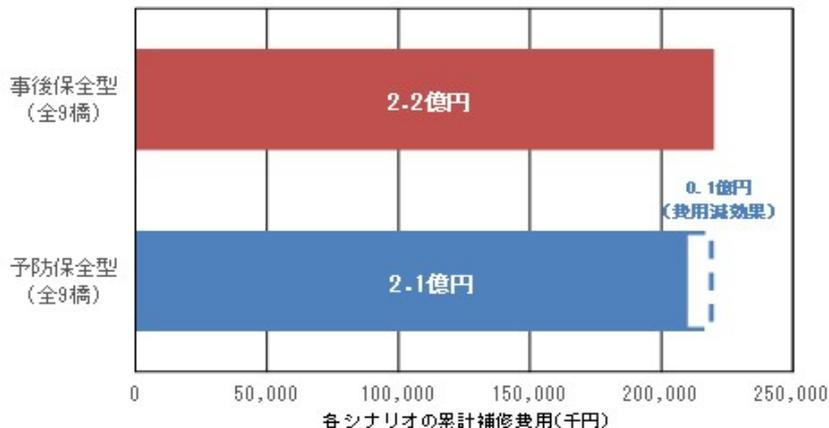


図 予防保全型および事後保全型における維持管理費用 (50年間)

#### 6. 対策内容と実施時期

対象施設ごとの概ねの修繕内容および次回点検時期を以下に示す。

No	橋梁管理番号	橋梁名	架設年次	路線名	橋長(m)	総幅員(m)	種類	所在地	点検結果 年度	健全度	補修時期・事業費(千円)										補修内容 (主な措置内容)	備考	定期点検実施時期		
											R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032	R15 2033	R16 2034					
1	3001	駅前1号橋	1984	池田線	23.0	5.0	RC	池田市菅野町	R6	II					2.0						2.0			R11 R16	
2	3002	駅前2号橋	1984	池田線	107.0	5.0	RC	池田市栄町	R1	-					2.0						2.0			R11 R16	
3	3003	駅前3号橋	1984	池田線	31.0	4.0	RC	池田市栄町	R6	II					2.0						2.0			R11 R16	
4	3004	駅前4号橋	1984	池田線	60.0	5.0	RC・鋼	池田市栄町	R1	-					2.0						2.0			R11 R16	
5	3005	駅前通路橋	1984	池田線	22.0	6.0	鋼	池田市栄町	R6	I					2.0						2.0			R11 R16	
6	3006	畑町歩道橋	1972	池田線	54.0	2.0	RC・鋼	池田市畑1丁目	R6	II					2.0						2.0			R11 R16	
7	3007	天神1号歩道橋	1975	池田線	41.0	2.0	RC・鋼	池田市天神1丁目	R6	II					2.0						2.0			R11 R16	
8	3008	住吉北歩道橋	1978	池田線	63.0	2.0	RC・鋼	池田市住吉1丁目	R6	II					2.0						2.0			R11 R16	
9	3009	住吉歩道橋	1970	池田線	53.0	2.0	RC・鋼	池田市住吉2丁目	R6	II					2.0						2.0			R11 R16	
10	3010	伏尾シェッド	1986	池田線	22.0	6.9	CO	池田市伏見町	R7	II	2.0					2.0								R7 R12	
事業費合計(千円)		各年事業費									2	0	0	0	0	17.8	2	0	0	0	0	17.8			
		事業費合計									39.6														
補修対象橋梁数		合計									0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

##### 《新技術等の活用及びコスト縮減効果》

- ・事業の実施にあたっては、令和11年までに管理する9橋、シェッド1箇所全てについて、修繕や点検に係る新技術等の活用の検討を行うとともに、1割程度の施設で、費用(コスト)縮減や事業の効率化等の効果が見込まれる新技術等を活用することを目標とする。
- ・費用(コスト)縮減についても、上記実施にあたり、令和11年までの修繕や点検における費用を1割程度縮減することを目標とする。

##### 《集約・撤去及びコスト縮減効果》

- ・事業の実施にあたっては、令和11年までに管理する9橋、シェッド1箇所全てについて、集約撤去の検討(交通量の少ない等)を行い、1割程度の施設で、集約・撤去することを目標とする。
- ・費用(コスト)縮減についても、上記実施にあたり、令和11年までの必要となる費用を1割程度縮減することを目標とする。